

# 市の財政事情



## 昭和42年度 上半期

告示第四三号

「日光市財政事情の公表に関する条例」の規定により、昭和四十二年四月一日から九月三十日までの期間における財政事情をつぎのとおり公表します。

昭和四十二年十一月一日

日光市長 佐々木耕郎

### 経費の節減を重点に 健全財政を維持

この公表は昭和四十二年上半期の財政状況について行なったものです。

今期におきましても市税の大幅な増収が期待できないため、あいかわらず苦しい財政状況です。しかし、経費の節減をはかり、効率的に財政運営を行なった結果、予期以上の事業実績をあげることができました。また市税につきましても、皆さん方のご協力により良好な成績をあげることができましたので、健全財政を維持することができました。

#### ■ 予算の推移

それでは、まず予算の推移からみてみましょう。

一般会計の当初予算は六億三三五四万八、〇〇〇円でしたがその後補正を一回行ない総額で六億五、四八四万四、〇〇〇円になっています。この額は昨年同期に比べ約三〇%の増となっ

#### ■ 収入の状況

つきに一般会計の収入状況についてみてみましょう。

九月三十日現在で収入済の額は二億九、〇〇九万円で、予算総額に対して四四・二%の収入率を示し、総体的にみて順調に収入されています。なかでも、歳入予算の六〇%を占める市税収入は、昨年同期と同じ五六・七%の収入成績をあげています

### 昭和42年度一般会計予算支出状況

予算額 6億5,608万円 支出済額 2億9,259万円 (9月30日現在)

<b>総務費</b>  予算額 1億0,941万円 支出額 5,449万円	<b>土木費</b>  予算額 7,530万円 支出額 2,171万円	<b>教育費</b>  予算額 1億1,035万円 支出額 6,327万円	<b>商工費</b>  予算額 4,951万円 支出額 1,982万円
<b>衛生費</b>  予算額 5,876万円 支出額 2,412万円	<b>民生費</b>  予算額 4,797万円 支出額 2,275万円	<b>消防費</b>  予算額 3,353万円 支出額 1,337万円	<b>議会費</b>  予算額 2,088万円 支出額 1,046万円
<b>公債費</b>  予算額 4,580万円 支出額 2,638万円	<b>農林水産業費</b>  予算額 2,088万円 支出額 1,046万円	<b>労働費</b>  予算額 861万円 支出額 481万円	<b>予備費</b>  予算額 100万円 支出額 0万円
その他 災害復旧費、諸支出金 予算額 7,448万円 支出額 2,278万円			

また、ことしは臨時特例交付金がなくなりましたが、その代わりの財源としては市たばこ消費税が一二%引き上げられましたので、市たばこ消費税について七〇〇万円の増収を見込むこ

とができます。さらに九月一日から入場税の税率が一人につき一〇円引き上げられましたのでこれによる増収が二〇〇万円見込めます。いっぽう、設備投資の増加により固定資産税も順調な伸張率を示しています。このため、国の減税措置による個人市民税の減収分を補っても、なお増収が見込まれる状況です。

科目別の収入状況は別表のとおりです。さらには九月一日から入場税の税率が一人につき一〇円引き上げられましたのでこれによる増収が二〇〇万円見込めます。いっぽう、設備投資の増加により固定資産税も順調な伸張率を示しています。このため、国の減税措置による個人市民税の減収分を補っても、なお増収が見込まれる状況です。

#### ■ 支出の状況

こんどは支出状況を歳出予算の執行状況から、おもなものをみてみましょう。

支出についても別表のような構成費になっていますが、ことしは、とくに中宮祠小中学校の焼失により、校舎再建費を急ぎ当初予算に計上したため、ひじょうにきゅうくつな予算となっ